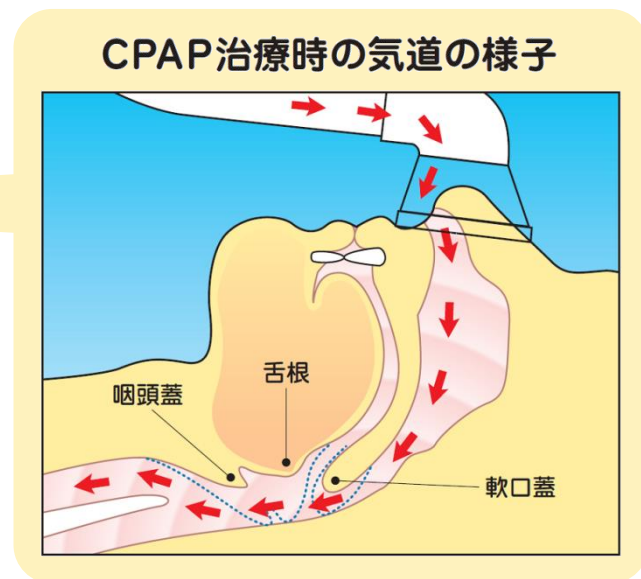
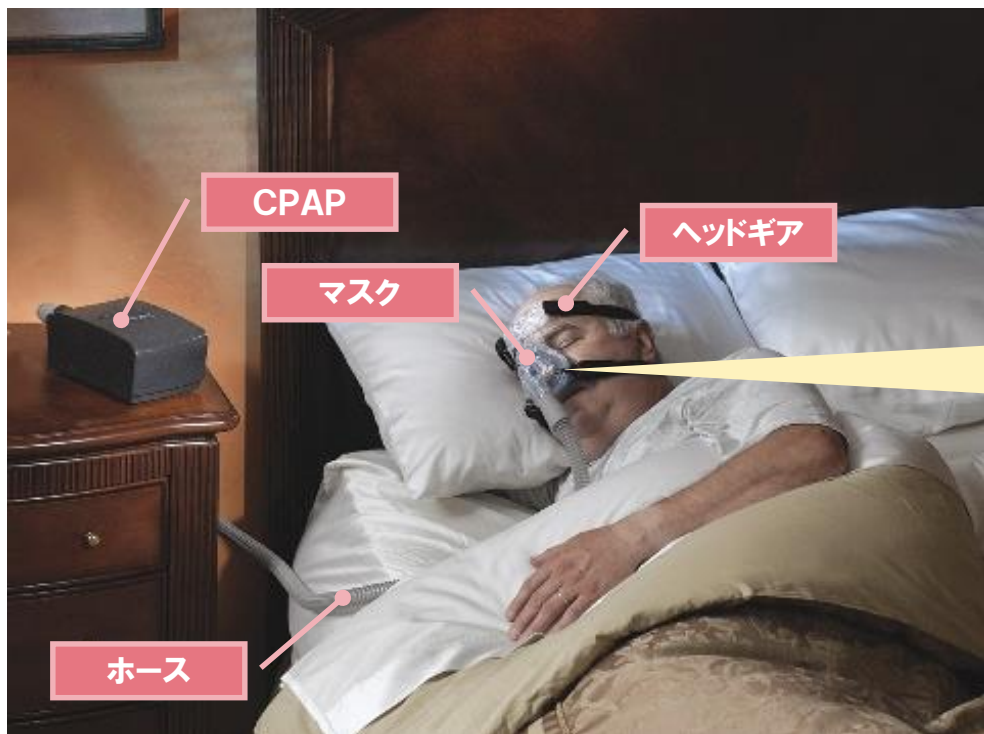


3. 閉塞型SASの治療法

1 シーパップ CPAP(持続陽圧呼吸療法)装置による治療

シーパップ CPAP療法(持続陽圧呼吸療法)とは

CPAP療法は、CPAP装置からホース、マスクを介して、処方された空気を気道へ送り、常に圧力をかけて空気の通り道が塞がれないようにします。



シーパップ

CPAP療法(持続陽圧呼吸療法)の効果

熟眠感が得られ、目覚めがすっきりします。

CPAP療法を適切に行うことで、睡眠中の無呼吸やいびきが減少します。治療を続けることによって、眠気がなくなる、夜間のトイレの回数が減るといったSAS症状の改善が期待されます。

またCPAP療法による降圧(血圧を下げる)効果の報告もあります。

CPAP療法は、めがねをかけていることと同じで、治療器を使用していなければ無呼吸は変わらず効果がありません。

また慣れるのに2~3ヶ月かかる場合もあります。

